

ハマ街ビト

横浜には、独自のサービスや技術の強みを生かした魅力的な企業、団体が数多く存在しています。ここでは、LTR 独自の視点で他社の参考になる先駆的な取り組みや、新たな挑戦をする企業とヒトをピックアップ。今回は、経営者にとっても必要な「精神力」、組織が団結することで発揮される「組織力」などをテーマにしたインタビュー記事をお届けします。

地域密着型の「まめの木薬局」(戸塚区戸塚町)。店長の遠藤 好彦(えんどう・よしひこ)さんは、薬剤師でありながらアンブティサッカー(上肢または下肢に切断障がいを持った選手がプレーするサッカー)の選手としても、ワールドカップに出場するなど大活躍しています。18歳のとき事故で重傷を負い、右脚を切断。「ずっと義足を隠して過ごしていた」という遠藤さんですが、34歳でアンブティサッカーと出会ってから人生が一変、経営者としてのマインドにも大きな影響があったそうです。そこで今回は、経営者とサッカー選手という二つの立場から、精神力や組織力などをテーマにお話をお聞きしました。



まめの木薬局
店長・薬剤師 遠藤 好彦さん
(アンブティサッカークラブ「FCアウボラーダ」所属)

自らの姿を「見せる」ことで高まる組織力

——「まめの木薬局」はオープン以来、「人(患者さま)が薬剤師に会いに来る薬局」という点を視野に入れ、地域密着型の薬局を目指してきたそうですね。

【遠藤】はい。薬局で薬を処方するのは当たり前。大事なのは、薬や体のことを気軽に話せる薬剤師の存在です。「ここに来れば、あの薬剤師に会える」といった、安心感のある場所にしたいと思っています。同時に力を入れているのは、病気になりにくい体作りを考えた予防治療の提案。そのためにも、一人ひとりの方と向き合う時間が必要なんです。



戸塚駅西口から徒歩 8 分。グリーンを基調とした看板が目印



元気で健康な生活をサポートする商品も取り揃えている

——薬剤師でありながら経営者、アンブティサッカーでは、2018年にワールドカップに初出場、2022年に出場した際は主将としてチームを牽引されました。組織やチームのリーダーとして、心がけていることがあれば教えてください。

【遠藤】私は、強いリーダーシップを発揮するタイプではありません。ただ、どんな場面でも「最大限の力



薬局内にはサムライブルーのユニフォームも!

を出そう」という気持ちで動いています。ありがたいことに薬局では、サッカーの活動が加わってから理解してくれるメンバーの存在があり、私もカー杯動くことができます。その姿を見たメンバーも、自ら考えながら動いてくれて。それが次第に、大きな団結力(組織力)を生んでいるように感じています。

——そこには、強い信頼関係がありそうですね。コミュニケーションの面で(薬局、サッカーチームともに)工夫していることはありますか?

【遠藤】強いて言えば「メンバーを見る」こと。そうすると、日々の変化にも素早く対応できます。たとえばアンブティサッカーの日本代表チームでは、所属クラブから1人で参加している若いメンバーもいたので、積極的に声をかけました。話の内容は、サッカーに関係ないゲームのことでしたが(笑)。

学生時代から好きな言葉は「努力」と「継続」

——遠藤さんは8歳でサッカーと出会い、中学高校時代もサッカー部に所属。どんな選手でしたか？

【遠藤】ズバリ、冴えない選手です(笑)。補欠か試合に出られるギリギリのところにいるような……。ただ負けず嫌いな部分があり、コツコツとやるタイプだったので、練習は真面目にやっていました。

——日が暮れても、ひたすらボールを蹴る“遠藤少年”の画が浮かびます(笑)。

【遠藤】昔から「努力」「継続」という言葉が好きなんです。努力して継続すれば、何らかの結果が得られるので。精神的にちょっと弱気になったときでも、努力を続けていれば、それが自分の大きな支えになってくれます。その考えは、40代になった今も変わらないですね。

薬科大学に合格した18歳のとき、バイク事故により右脚の太ももから下を失う大怪我を負った遠藤さん。しばらくはサッカーを観ることも避けてきたそうですが、あるとき、ご家族が見つけた「アンプティサッカー」の記事をきっかけに、再び“サッカーボールを蹴る人生”が始まります。

「日本代表選手に！」と発信して得た力

——「アンプティサッカー」の体験会では、衝撃を受けたそうですね。

【遠藤】過去にリハビリで経験していたサッカーと違い、アンプティサッカーはクラッチ(医療用の松葉づえ)を使い腕で支えるので、ボールをしっかり蹴ることができたんです。義足を外した解放感もあり、「これ、昔やってたサッカーだ!」と。そこから一気にのめりこみました。

——私も動画を拝見し、アグレッシブさに驚かされました。そして遠藤さん、なんと5ヶ月後には大会に出場されますよね。スピード感が凄いです。

【遠藤】「エントリーしておいたよ」とチームの代表に言われて、私もビックリ(笑)。でも、目標があったことで自身を奮い立たせることができたので、とにかく必死で練習しました。

——同大会でチームは見事優勝! 試合後のインタビューで口にした言葉が力になったとか？

【遠藤】「今後の目標は?」と聞かれ、思わず「日本代表選手になりたい」と答えてしまったんです。すぐに後悔しましたが「もう、やるしかない」と。

——2018年と2022年には、日本代表選手として目標を現実のものにします。精神的にも肉体的にも相当な力が必要だったと思いますが、パワーの源となったのは？

【遠藤】実はアンプティサッカーのことを知ってから、半年間は動けずにいたんです。体験会への参加を勧められても、あと一歩が踏み出せなかった。それでも、声をかけ続けてくれた家族や周囲の期待に応えなければと動いたら、そこには素晴らしい景色が待っていました。その後は、常に目標を掲げてきたことが、私自身を突き動かしてくれたように思います。あとは、努力してそれを継続すればいい。そうすると、安心して大きな力が湧いてくるんです。

——2018年と2022年には、日本代表選手として目標を現実のものにします。精神的にも肉体的にも相当な力が必要だったと思いますが、パワーの源となったのは？

——2018年と2022年には、日本代表選手として目標を現実のものにします。精神的にも肉体的にも相当な力が必要だったと思いますが、パワーの源となったのは？



クラッチを巧みに操りながら、ダイナミックなプレーを展開



まめの木薬局
のHPはコチラ
から→

さらに詳しい
記事が読める
ハマ街ビト番
外編はコチラ
から→

